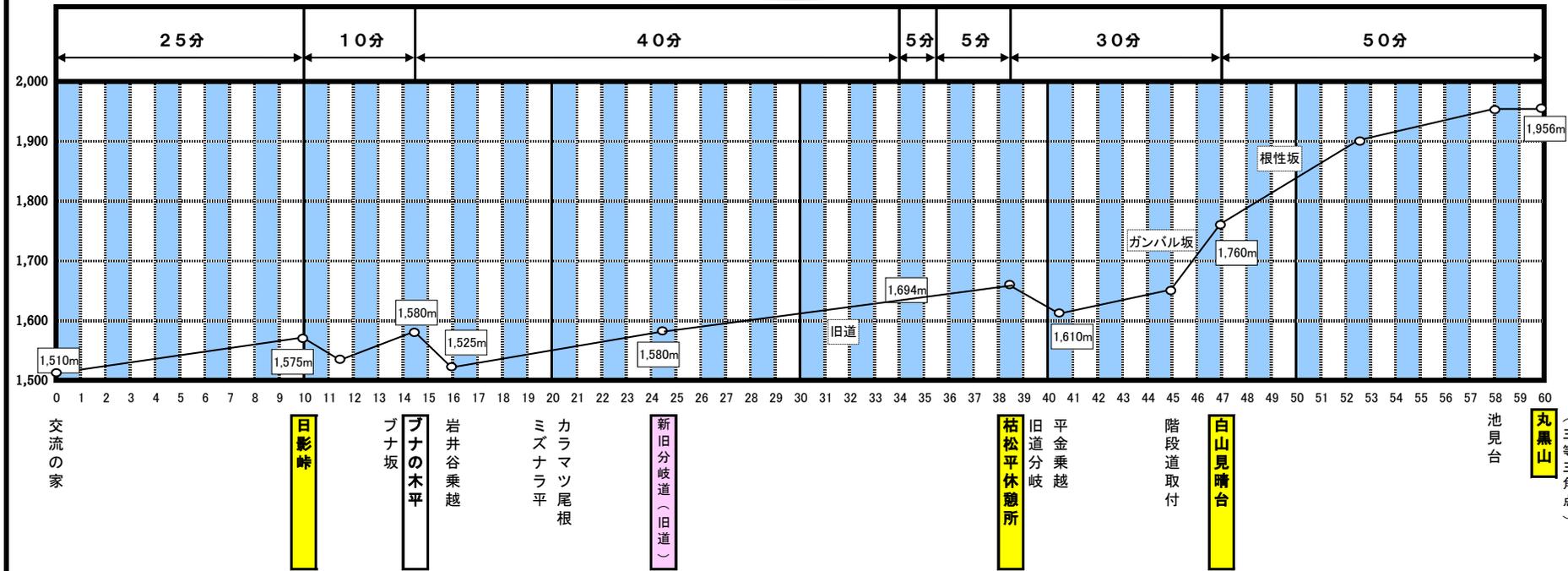


# 登山コース標高表&ミニガイド

1ポイント100m  
 ■は休憩ポイント



交流の家から日影峠までは、林道となっており自動車が通行できる幅があります。林道の脇の森はカラマツ林でタラノキやコシアブラが混在しています。林床はクマザサが生い茂っています。また足下にはバライチゴやウドなどを見つけることができます。

日影峠からは登山道となります。入り口には大きなモミの木が立っています。最初は狭い下り道です。足下に気をつけて下さい。登山道右には青屋牧場が広がっています。休憩場所のブナの木平は、その名の通り大きなブナの木やタケカンパ・ウダイカンパなどの林になっています。

ブナの木平から階段の下りとなり、岩井谷乗越をすぎて登りとなります。大きなシナノキが立っています。その後、足下にはユキザサやマイズルソウをたくさん見ることが出来ます。旧道分岐点から枯松平山までは急な登り道が続きます。足下を確認し、ゆっくりとしたペースで登りましょう。枯松平山頂上付近は休憩場所になっています。なお、旧道分岐から旧道に進むと途中に水場がありますが枯れていることもあります。新道にくらべ起伏が少なく歩きやすい道ですが、枯松平小屋近くは湿地になっており、足を取られやすいので

枯松平山から下り、白樺広場を通過して、枯松平に着きます。枯松平には避難小屋があり、多くの団体はここで休息をとります。枯松平小屋から平金乗越を通り、ガンバル坂に向かいます。このあたりは木道になっており、起伏も少なく歩きやすい場所です。ガンバル坂は階段状になっており高度をかせげますが、ルートの中で一番きつい場所です。登り切ると白山見晴台があり、天気がいいと西側に白山がきれいに見えます。白山見晴台には大きなナナカマドの木が立っています。またチョウセンゴヨウの実をかじるリスや、乗鞍岳から飛んできたホシガラスを見かけることもあります。

白山見晴台から上は根性坂があります。ここは階段状になっていて、ガンバル坂ほど急ではありませんが、池見台まで長く続きます。また、途中に道の荒れた部分があり、大きな段差となっていますので、一人一人順番に登って下さい。池見台からは眼下に五色ヶ原の雄池や雌池が見え、正面に乗鞍岳が一望できます。池見台からは尾根を歩くコースで、頂上付近は足場がとりにくくなっています。頂上に着くと三角点の近くに小さな社が建っています。尾根道沿いにはシラタマノキ、コイワカガミ、コイチヨウランなどの高山植物を見ることができます。

# 交流の家～丸黒山登山道行程

